



## 平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年9月29日

上場会社名 株式会社 タカキュー

上場取引所 東

コード番号 8166 URL <http://www.taka-q.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 立育

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 平成29年9月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年2月期第2四半期の業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	12,395	8.6	342		232		274	
29年2月期第2四半期	11,414	2.4	101		16		104	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	11.26	
29年2月期第2四半期	4.31	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	11,722	7,113	60.7	291.93
29年2月期	13,139	7,467	56.8	306.46

(参考)自己資本 30年2月期第2四半期 7,113百万円 29年2月期 7,467百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		3.00	3.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年2月期の業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	10.4	300	21.6	500	18.6	50	56.2	2.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	24,470,822 株	29年2月期	24,470,822 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	104,319 株	29年2月期	104,319 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	24,366,503 株	29年2月期2Q	24,366,618 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	8
商品別売上高	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に、企業収益は堅調に推移しております。一方、個人消費については力強さに欠け、当衣料品小売業界は依然として厳しい状況が続いております。

このようななか当社は、平成30年2月期を初年度とする中期経営計画をスタートさせ、事業の更なる拡大を図るべく「既存事業の再構築と収益性の向上」、「新たな成長戦略への挑戦」、「経営基盤の強化」に取組みました。

営業面では、「日本一お客様に喜ばれる販売員」の育成のため、全国規模でロールプレイング大会を実施し、その模様を全店のタブレット端末に動画配信して、接客教育に活かしました。さらに各商品の特徴について解説動画も配信し、販売知識のレベルアップを図りました。

また、本年2月に吸収分割により承継したビッグサイズの紳士衣料「グランバック」事業については、堅調に推移しております。

会員制度に関しては、より利便性と魅力を高めるべく、特典の見直しを行いました。併せて会員以外のお客様にも買物券の配付など再来店の促進を図りました。また、ショッピングセンターの販促企画におけるディベロッパーとの連携強化や催事販売も積極的に実施しました。

商品面では、「日本一お客様に喜ばれる商品」を提供するために、店長が参加する商品企画会議により現場の意見を品揃えに活かし、またランク別生産による売れ筋商品の投入や値下のコントロールにも注力しました。品質面の改善としては、より細かな検品基準を設けて厳格化を図るとともに、指定検品所も増設するなど、繊維製品品質管理士等で構成する品質向上委員会を中心として、全社的に品質改善に取組みました。さらに、オーダーシャツの展開開始、ビジネスシューズの売場拡大などを行いました。

一方で天候不順等の影響もあり、当第2四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は3.2%減となりました。

店舗面では、主力業態のタカキューを7店舗、セマンティック・デザインを3店舗、エム・エフ・エディトリアルを2店舗、計12店舗出店し、低効率等により6店舗退店した結果、当第2四半期会計期間末では前年同期比28店舗増の305店舗となりました。

以上により、当第2四半期累計期間の売上高は123億9千5百万円（前年同期比8.6%増）となりました。利益面では、人件費や出店費用等、販売費及び一般管理費の増加等により、営業損益は3億4千2百万円の損失（前年同期は営業損失1億1百万円）、経常損益は2億3千2百万円の損失（同経常利益1千6百万円）となりました。また減損損失6千5百万円の計上等により、四半期純損益は2億7千4百万円の損失（同四半期純損失1億4百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、前事業年度末に対して14億1千6百万円減少し、117億2千2百万円となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が8億8千9百万円、売掛金が2億8千2百万円、商品が2億7千3百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して10億6千2百万円減少し、46億9百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が9億5千3百万円、未払法人税等が1億3千7百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して3億5千4百万円減少し、71億1千3百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が3億4千7百万円減少したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に対して5億8千9百万円減少し、2億3千9百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億4千4百万円の支出（前年同期比7億3千9百万円の支出増加）となりました。これは税引前四半期純損失2億9千8百万円、非資金的費用である減価償却費2億4千6百万円、売上債権の減少2億8千2百万円およびたな卸資産の減少2億6千8百万円等による資金増と、仕入債務の減少9億5千3百万円および法人税等の支払2億1千1百万円等の資金減によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2千8百万円の収入（前年同期比4千1百万円の収入増加）となりました。これは定期預金の減少による収入3億円および敷金及び保証金の回収による収入が1億5千9百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出2億6千7百万円および敷金及び保証金の差入による支出8千6百万円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により7千3百万円の支出となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期通期の業績予想につきましては、平成29年9月22日に公表しました業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,829,160	939,903
売掛金	1,271,228	988,314
商品	4,045,639	3,772,015
貯蔵品	55,579	60,866
繰延税金資産	95,979	181,578
その他	266,074	261,522
流動資産合計	7,563,662	6,204,200
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	526,018	570,620
器具及び備品(純額)	396,208	397,648
その他(純額)	16,134	4,562
有形固定資産合計	938,361	972,831
無形固定資産	241,920	223,050
投資その他の資産		
関係会社株式	317,882	308,453
賃貸不動産(純額)	80,190	78,987
差入保証金	244,988	164,988
敷金	3,611,325	3,616,792
繰延税金資産	69,694	71,252
その他	71,719	82,305
投資その他の資産合計	4,395,801	4,322,780
固定資産合計	5,576,083	5,518,661
資産合計	13,139,745	11,722,861

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871,579	1,039,610
電子記録債務	2,294,646	1,173,512
未払法人税等	252,607	115,480
賞与引当金	157,900	220,632
災害損失引当金	5,635	—
その他	982,666	938,651
流動負債合計	4,565,036	3,487,886
固定負債		
資産除去債務	978,418	1,002,148
その他	129,009	119,615
固定負債合計	1,107,427	1,121,764
負債合計	5,672,464	4,609,650
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,485	568,485
利益剰余金	4,815,818	4,468,291
自己株式	△26,274	△26,274
株主資本合計	7,358,028	7,010,501
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	109,251	102,710
評価・換算差額等合計	109,251	102,710
純資産合計	7,467,280	7,113,211
負債純資産合計	13,139,745	11,722,861

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	11,414,649	12,395,779
売上原価	4,645,667	5,070,736
売上総利益	6,768,981	7,325,042
販売費及び一般管理費	6,870,568	7,667,256
営業損失(△)	△101,586	△342,213
営業外収益		
不動産賃貸料	154,724	152,352
手数料収入	50,973	51,448
その他	24,864	21,593
営業外収益合計	230,562	225,393
営業外費用		
不動産賃貸費用	104,192	103,172
その他	8,674	12,815
営業外費用合計	112,867	115,987
経常利益又は経常損失(△)	16,107	△232,807
特別損失		
減損損失	50,265	65,559
災害による損失	19,023	—
特別損失合計	69,289	65,559
税引前四半期純損失(△)	△53,181	△298,367
法人税、住民税及び事業税	56,974	60,329
法人税等調整額	△5,215	△84,269
法人税等合計	51,759	△23,939
四半期純損失(△)	△104,941	△274,427



（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失（△）	△53,181	△298,367
減価償却費	221,478	246,075
減損損失	50,265	65,559
災害損失	9,023	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	49,052	62,731
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	3,180	—
災害損失引当金の増減額（△は減少）	10,000	△5,635
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△20,189	—
有形固定資産除却損	1,052	1,767
受取利息及び受取配当金	△5,052	△3,918
売上債権の増減額（△は増加）	354,283	282,913
たな卸資産の増減額（△は増加）	40,196	268,337
仕入債務の増減額（△は減少）	△252,618	△953,103
未払消費税等の増減額（△は減少）	△38,006	46,704
その他	△2,975	△46,373
小計	366,509	△333,307
法人税等の支払額	△171,168	△211,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,340	△544,451
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△84,320	△267,560
無形固定資産の取得による支出	△884	△34,113
定期預金の預入による支出	—	△2,000,000
定期預金の払戻による収入	—	2,300,000
敷金及び保証金の差入による支出	△41,234	△86,836
敷金及び保証金の回収による収入	71,028	159,083
資産除去債務の履行による支出	△2,942	△10,945
その他の資産取得による支出	△8,032	△34,936
長期預り保証金の返還による支出	△500	—
保険積立金の解約による収入	49,426	—
利息及び配当金の受取額	4,683	3,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,775	28,638
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△49,740	△73,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,740	△73,444
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	132,825	△589,257
現金及び現金同等物の期首残高	1,256,976	829,160
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,389,802	239,903

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 補足情報

商品別売上高

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)		前事業年度 (自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	4,462,972	39.1	4,867,581	39.3	9,558,781	39.8
中衣料	463,197	4.0	516,648	4.2	1,852,232	7.7
軽衣料	6,068,895	53.2	6,552,287	52.8	11,715,816	48.8
その他衣料等	419,583	3.7	459,261	3.7	877,362	3.7
合計	11,414,649	100.0	12,395,779	100.0	24,004,192	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。